

栃身協たより

第 40 号

発行日 令和 5 年 1 月 1 日
発行所 栃木県身体障害者団体連絡協議会
宇都宮市若草 1-10-6
とちぎ福祉プラザ
障害者スポーツセンター内
☎・Fax 028-678-4401
E-mail info@tochi-shinkyō.org



新年のごあいさつ

栃木県身体障害者
団体連絡協議会会長
麦倉 仁 巳

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日頃から会員の皆様はじめ関係者の皆様には当会の各種事業に御理解、御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年も引き続き新型コロナウイルス感染対策に翻弄されながらもワクチン接種が進むなか従前は中止を余儀なくされていたイベント等も種別や時期により開催が可能となってきました。

栃木県民福祉のつどいは各分野の代表受賞者の出席による表彰式を行い、県障害者文化祭（カルフルとちぎ2022こころのつどい）も規模を縮小して開催することができました。

特に、台風やコロナ禍によって開催の中止や延期を余儀なくされていた全国障害者スポーツ大会が4年ぶりに栃木県で第22回「いちご一会とちぎ大会」として開催できたことは大変喜ばしいことです。

「夢を感動へ。感動を未来へ。」のスローガンのもと障害者スポーツの魅力と感動は共生社会の実現を進める絶好の機会となりました。

また、コロナ禍における体温・体調等の申告のための「GLOBAL SAFETY」アプリや障害者手帳の「ミライロID」アプリの普及も進み、紙ベースから電子化への移行が進んだ感がありました。

これからも自主事業と併せて県からの委託事業である障害者のための社会参加支援事業や総合相談事業等に取り組んで参りますので、構成団体はじめ関係者の皆様のなお一層の御指導・御支援をお願い申し上げます。

結びに、関係団体の益々の御発展と会員皆様の御多幸を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。



年頭のごあいさつ

栃木県保健福祉部長
仲山 信之

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

麦倉会長をはじめ、栃木県身体障害者団体連絡協議会の皆様には、日頃から本県の障害保健福祉行政の推進に御理解、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の秋には、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されました。本県では初めての開催となりましたが、選手団は個人競技、団体競技合わせて金メダル62個、銀メダル41個、銅メダル41個の合計144個と過去最多のメダルを獲得するなど活躍され、大きな成果を上げるとともに、選手が全力で競技に取り組む姿は、多くの県民に感動と勇気、そして夢を与えてくださいました。

また、この成果は選手だけではなし得ず、練習から大会期間を含めサポートしていただいた監督、コーチ、選手団役員、家族などの関係者の皆様による支援の賜物でございます。

とちぎ大会を通じて、スポーツは障害の有無に関わらず、全ての人が楽しめるものであると改めて実感したところです。大会を通じて培われた有形・無形のレガシーを確実に継承し、障害や障害者への理解を一層進め、県民誰もが共に支え合う「共生社会」の実現につなげて参りますので、貴会をはじめ関係団体の皆様におかれましては、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御多幸、御活躍を祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。

第28回 栃木県民福祉のつどい

令和4（2022）年8月22日(月)に、第28回栃木県民福祉のつどいが栃木県庁 昭和館 正庁において開催されました。

この福祉のつどいは、県民の福祉に対する認識と理解をより一層深め、ふるさと「とちぎ」におけるノーマライゼーション社会の実現とソーシャル・インクルージョンの推進に寄与することを目的に開催されました。

今年のはつどいは、昨年についで新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各表彰分野の代表受領者のみ出席して行われました。栃木県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰ほか4団体による会長表彰が行われ、障害者関係では、栃木県知事表彰7名、栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰12名及び2団体が受賞されました。



麦倉会長から表彰を受ける
永田義美 氏



麦倉会長から表彰を受ける
神永 榮 氏

栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰受賞者

(敬称略)

☆自立更生者（7名）

永田 義美（宇都宮市）

宇賀神光男（宇都宮市）

鈴木カネ子（真岡市）

國田 実（大田原市）

奥澤 初代（大田原市）

黒崎 歳男（塩谷町）

高橋 利行（塩谷町）

☆更生援護功勞者（2団体及び5名）

点訳ボランティアサークル かたつむり

手話コーラス「瞳」

田名網 弘（栃木市）

手塚 良子（さくら市）

岩崎 麗子（市貝町）

神永 榮（壬生町）

塩井 和枝（塩谷町）

第25回栃木県障害者文化祭

カルフルとちぎ 2022ころのつどい

令和4(2022)年11月11日(金)、とちぎ福祉プラザと障害者スポーツセンターをメイン会場に「カルフルとちぎ」が3年ぶりに開催されました。新型コロナウイルスの影響で規模を縮小しての開催でしたが、県内障害者施設・学校等の皆様による絵画・書・写真・工芸品の作品展示、手工芸品・パン・クッキーなど製作品販売、障害者スポーツのボッチャの体験会、福祉車両展示や障害者団体の活動コーナーなどが設けられました。来場者の皆様も多いに楽しまれた様子でした。



結婚相談所の登録者を募集しています

対象：原則として、県内に在住し結婚を希望する20歳から65歳くらいまでの方。
費用は無料です。

その他：・女性の登録者が少ないため、女性の方大歓迎です。
・関東ブロックで行われる交流会に参加できます。

結婚相談以外の総合相談も受け付けています。お気軽にご相談下さい。相談は無料です。

※相談日時：毎週水・金曜日 毎月第2 日曜日(祝日、年末年始は除く)
午前10時～午後3時
TEL・FAX 028-623-6353

栃木県身体障害者総合相談所：栃木県身体障害者団体連絡協議会内

栃木県身体障害者総合相談所の相談現況(令和3(2021)年度)

1 月別相談件数

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	合計
内 訳	男	18	14	15	10	6	5	7	7	7	4	5	105	290
	女	19	15	11	16	13	15	16	14	18	18	9	21	

2 相談内容別件数

相談内容	就 職	年 金	手 帳	施設入所	法 律	介 護	住 居	結 婚	その他	計
件 数	14	2	11	4	2		7	104	146	290

栃木県障害者社会参加推進センター ホームページの紹介

<http://www.tochi-shinkyō.org/>

会員以外にも広く参加を呼びかけたい講演会・研修会・旅行等の行事についてお知らせください。ホームページのイベント情報サイトに掲載します。電話・メール等で御連絡ください。



第22回全国障害者スポーツ大会



「いちご^{いちえ}一会とちぎ大会」開催される



台風や新型コロナの影響により4年ぶりの開催となった全国障害者スポーツ大会は、選手や関係者にとって待ち望んだ大会でした。また、全国の皆様を開催地県民として迎えられたことは大きな喜びです。選手等の躍動や感動を未来へつなげて行きましょう。

■期 日 令和4年10月29日(土)~31日(月)

■栃木県選手団の概要

選手数：296名（個人種目148名、団体種目148名） 役員数：175名 合計：471名

■競技別結果（個人競技の獲得メダル数：金・銀・銅）

- 陸上競技（30・15・15）
- アーチェリー（1・1・3）
- ボウリング（1・0・1）
- 卓球（8・9・3）
- △バスケットボール（知的・男子）1勝2敗
- △車いすバスケットボール（肢体）1勝2敗
- △グランドソフトボール（視覚）2敗
- △バレーボール（知的・男子）1勝2敗
- △バレーボール（聴覚・男子）1勝2敗
- △バレーボール（精神）2敗
- 水泳（13・5・7）
- フライングディスク（7・9・7）
- ボッチャ（1・1・1）
- サウンドテーブルテニス（STT）（1・0・2）
- △同左（知的・女子）2敗
- △ソフトボール（知的）2敗
- △サッカー（知的）準優勝 2勝1敗
- △同上（知的・女子）3位 2勝1敗
- △同上（聴覚・女子）1勝2敗
- △フットソフトボール（知的）3位 2勝1敗



※上記競技のほか、卓球バレー、車椅子ダンス、スポーツウエルネス吹矢をオープン競技として開催。



開会式



水泳



ボッチャ



解団式



この機関紙は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。